

第3回定例研究会

「平安時代の文学と『貴種流離譚』」

第3回定例研究会は、大阪女子短期大学の水谷隆先生をお招きして、「平安時代の文学と『貴種流離譚』」というテーマで講演いただきました。水谷隆先生のご経歴は、下記の通りです。

【講師プロフィール】

1963年愛媛県生まれ。広島大学工学部中退。大阪市立大学文学部卒業後、同大学院博士課程単位取得満期退学。桃山学院大学・帝塚山学院大学の非常勤講師等を経て、現在大阪女子短期大学助教授、並びに武庫川女子大学非常勤講師・同大学関西文化研究センター協力研究員。専門分野は日本古典文学。主として万葉集・古今和歌集・新撰和歌等、古代の韻文を専攻とする。主要な論文は、「紀貫之の新撰和歌編纂の意図 ―古今集からの歌句の改変―」（国語国文第64巻第10号）・「おさな子の死 ―土佐日記の幼児を悼む記述に関する考察―」（大阪市立大学文学部創立五十周年記念国語国文学論集）・「日本古代の文学が中国文から受け入れたものの行方」（日本文化学報第14輯）・「『春の錦』考 ―漢詩表現受容の過程で生じた自然観について―」（日本文化学報第28輯）など。萬葉学会・和歌文学会・中古文学会会員。韓国日本文化学会海外理事。2003年、韓国日本文化学会より国際学術交流賞受賞。

講師

水谷 隆 氏（大阪女子短期大学 助教授）

テーマ

平安時代の文学と「貴種流離譚」

講演日

2006年7月15日（土）14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205



©生活美学研究所

みなさん熱心に聞いていらっしゃいました



©生活美学研究所

源氏物語の新解釈についてお話下さいました